

平成22年第4回日野町議会定例会（2日目）

平成22年9月14日 午前10時 開議

一般質問通告表

通告順	氏名	質問事項
1	松本利秋	<p>※元気なまちづくり交付金について 過疎化により地域が疲弊。そこで自治会や団体等に元気を出してもらい、地域を活性化させようとする初の試みとして、単町で「まちづくり交付金」を創設されました。結構なことであり、喜びと共に期待しているところです。現在、申請の中途ではありますが、申し出る自治会等が少ないようであります。問題点と方策について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) まちづくり交付金の交付対象（新規・継続事業）の考え方は。 2) これまでの申請状況と交付決定はどうなっているか。 3) 住民への周知徹底は十分か。 4) 申請期限が9月末となっているが、年度内ならよいか。また、申請から交付決定までの日数は。 5) 計画書類(申請書)の提出の仕方を工夫する考えはないか。 <p>※読書について 今年は国民読書年。テレビ等映像メディアを中心とした生活の中で、読書の良さを知り親しんでもらおうと、制定されたと思います。 そんな中、生田教育委員長が今年の入学式で、子ども手当が出るので、そのお金で是非本を買って読んで欲しい。また、成人式の記念品に本をリクエストに応じてプレゼントしたい、とのお話し。ユニークな試みであり、読書推進の熱意が伝わってきました。 図書館の活用と併せて読書の推進を進めるべきと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 広報等でPRは十分に行われているか。 2) 図書館の取り組みは。 3) 学校の取り組みは。 4) 地域・住民への取り組みの推進は。 5) 図書館の良さをもっとPRしては。

<p>2</p>	<p>中原 明</p>	<p>※機構改革について</p> <p>施政方針で、行政改革については、適材適所の人事を行い、職員の能力を最大限活かし、効率の上がる職場にするための意識改革を図ると述べられたが、4月1日、7月1日に人事異動があったが目指すものは何か。</p> <p>①21年6月1日には、課長補佐が住民課1名、健康福祉課2名、産業振興課2名が在籍していたのが、22年7月1日には、総務課、企画政策課、住民課には課長補佐は無し。健康福祉課、産業振興課に1名となっているが、地方分権の推進を図ることにどう対応されますか。</p> <p>②平成21年12月議会において、私が質問しました、課長補佐をチームリーダーに中間管理職として、立案や執行に権限を持たせ、現場に即した施策の敏速な実行を推進させてはと提案しましたが、縦割りで非効率だと答弁されましたが現在も同じ考えですか。</p> <p>③課長、係長職を廃止して、グループ制にしたいと申されましたが、具体的にどのような理念で取り組まれますか。</p> <p>④効率の上がる職場にするために意識改革を図るとは、何をどのように行動されますか。</p> <p>※福祉事務所について</p> <p>福祉事務所設置について、8月に協議書の作成、12月議会で設置条例の制定、4月業務引継ぎとなっているが、事務量の増大による新たな職員採用とその負担が増大し、特別交付税の余剰金で人件費、事務所費に充当できると説明されたが、不安材料もある。どう対応されるか。</p> <p>①設置することでのメリット、デメリットは何か。</p> <p>②査察指導員、現業員（ケースワーカー）の職員の配置が対応できるのか。</p> <p>③保護費試算と余剰金の試算が示されたが、特別交付税額の根拠は何が基準ですか。</p> <p>④余剰金額46,302,000円は高額すぎるが、特別交付税が持続可能か懐疑的に思われるがどうか。</p> <p>⑤県下でも、H24年以後設置予定の町村は5町あるが、なぜ急ぐのか。H24年後は県より派遣がないのは何故か。</p>
----------	-------------	--

<p>3</p>	<p>小谷博徳</p>	<p>※義務教育政策について</p> <p>出生数の減少に打つ手がなく、少子化に歯止めもかからず、高齢化社会の形成が進んでいる現実をふまえ、本町教育委員会は当分の間単独自立で学校運営を行うと打ち出されました。</p> <p>世の中の流れは中教審でも少人数学級の実現へと向かっています。本町の小中学校はこの答申を何年も前から踏襲している先進事例という見方も出来ると思います。</p> <p>極小規模校の単独自立に賭けた学校の特色作りはどのように行われているか、その成果はどのような形で求めておられるのか質問をしたい。</p> <p>1) 中教審が文部科学省に小・中「35人学級」「少人数学級」の推進という提言をしている。本町教育委員会はこの動きをどのような評価・分析をしているか。</p> <p>2) 当分の間統合は行わず単独自立で小学校教育を行うと決定された。極小規模校の単独自立という環境で特色ある学校運営・特色ある教育活動など教育委員会が求めている目標と到達時点での成果を具体的にお答え頂きたい。</p> <p>3) 少子化が進む中で学校対抗の郡スポーツ大会・文化活動等にどのように対処するのかお聞きしたい。</p> <p>4) 中学校の適正規模の基準はいくらか。本町の小規模中学における特色ある教育・特色ある学校運営など教育委員会が求めている具体的目標を聞きたい。</p> <p>5) 近未来、日野郡で年間出生数40人の時代がやってくる。郡内で中学校のあり方・中学校教育のあり方など同一テーブルで研究・研修・協議の考えをお聞きしたい。</p>
----------	-------------	--

4	佐々木求	<p>※一般質問に対する答弁について</p> <p>この任期中に私を含めて行った一般質問の中で、町長が「やる」との意向を示したにもかかわらず、思うように進んでいない課題も多く見受けられる。検証が必要だ。</p> <p>議会のあり方を含めた問題ではあるが、町長の答弁は重く、執行者、職員の問題として避けられない課題として問いたい。</p> <p>自らの課題として、向き合いながら、私の事例をあげて確かめてみたい。</p> <p>21年の12月議会において、うつ病対策を質問した際、町長は「これぞまさに行政が取り組むべき仕事」として取り組みを決意された。その後の取組みと流れを問う。</p> <p>①どういう指示がなされ、検討が行われたか、その後の対応を私に伝えなかったのは何故か。</p> <p>②県のパンフレット等を配布するなどの提案をしておいたがどうなったか。なぜ、だめなものはだめと伝えられなかったのか。</p> <p>③これは一つの事例だが、執行者、議会、住民、職員のそれぞれの在り方が問われる問題と考えるが、どう思うか。</p> <p>④私自身は「言いっぱなし」になっていたことへの反省と、その後の職員へのフォローも十分出来なかったことへの自責の念を持っているが、町長の今後の決意を聞きたい。</p> <p>※若者定住対策について</p> <p>3月議会の町長の施政方針で、この課題を繰り返し述べられ、重要性も強調されていた。重要な課題であるが、全国的にも単発的な施策を個々に打ち出すケースがほとんどである</p> <p>①「若者定住化」と「子育て支援」を含めた、条例の制定を考えるべきではないか。</p> <p>②その中の具体策として「若者用住宅」の建設を行うべきではないか。</p>
---	------	---